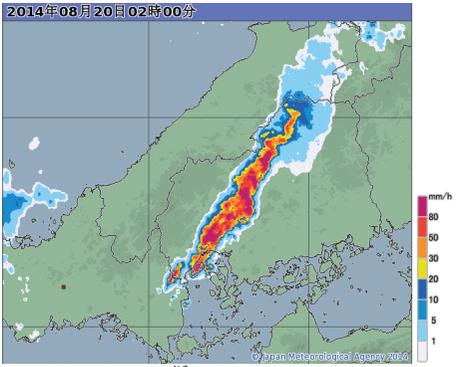


訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
186	図 19, 20	 <p>▲ 図 19 2011年台風12号による洪水 (和歌山県那智勝浦町)</p>  <p>▲ 図 20 広島県を襲った豪雨の雨量レーダー (2014年8月20日) 赤い部分ほど、雨が激しい。</p>	 <p>▲ 図 19 2018年台風21号による高潮で浸水した関西国際空港 台風による高潮で、一時は海面が3m以上も上昇し、滑走路や建物が広く水没した。</p>  <p>▲ 図 20 平成30年7月豪雨時の雨量レーダー (2018年7月6日) 赤い部分ほど、雨が激しい。</p>

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
186	28 - 32	<p>同じ場所を次々と通過することがあり、<u>ここでは大量の雨が降り続くことになる。さらには夏の夕立など、大気の状態が不安定なときに、狭い範囲に激しい雨が短時間に降ることがある。これは、雨雲が急激に発達するため天気の予測が難しい。</u></p>	<p>同じ場所を次々と通過することがあり、<u>大量の雨が降り続くことになる。2018年7月に西日本を襲った豪雨では、洪水や土砂災害などの甚大な被害が広範囲に生じた。</u></p> <p><u>低気圧や前線よりはるかに小規模だが、災害をもたらす現象もある。夏の夕立など、大気の状態が不安定なとき、狭い範囲に激しい雨が短時間に降ることがある。これは雨雲が急速に発達するため、天気の予測が難しい。</u></p>